

No. 17	やまぐちの豊かな流域づくり構想																																																																																																																				
<p>計画の概要</p>	<p>①計画名、策定年月：やまぐちの豊かな流域づくり構想、平成15年3月          ②対象流域または対象行政区界：山口県榎野川          ③策定の枠組み：策定主体 山口県環境生活部環境政策課          検討主体 やまぐちの豊かな流域づくり推進委員会</p> <table border="1" data-bbox="414 436 1220 1747"> <thead> <tr> <th>委員名等</th> <th>推進委員会</th> <th>計画策定小委員会</th> <th>地域通貨等循環促進小委員会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中西 弘 山口大学名誉教授</td><td>会長</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>浮田 正夫 山口大学工学部教授</td><td>委員</td><td>委員長</td><td></td></tr> <tr><td>遠藤 克彦 山口大学理学部教授</td><td>委員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鬼頭 鈞 水産大学校教授</td><td>委員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>坂本 紘二 下関市立大学教授</td><td>副会長</td><td></td><td>委員長</td></tr> <tr><td>羽田野 袈裟義 山口大学工学部教授</td><td>委員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>藤井 大司郎 山口大学経済学部教授</td><td>委員</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>陳 禮俊 山口大学経済学部助教授</td><td></td><td>委員</td><td></td></tr> <tr><td>深田 三夫 山口大学農学部助教授</td><td></td><td>委員</td><td></td></tr> <tr><td>榎原 弘之 山口大学工学部講師</td><td></td><td>委員</td><td></td></tr> <tr><td>竹下 直彦 水産大学校講師</td><td></td><td>委員</td><td></td></tr> <tr><td>松井 範博 山口大学経済学部教授</td><td></td><td></td><td>委員</td></tr> <tr><td>鍋山 祥子 山口大学経済学部講師</td><td></td><td></td><td>委員</td></tr> <tr><td>宇佐美 晃一 山口大学農学部助教授</td><td></td><td></td><td>委員</td></tr> <tr><td>JA山口中央 JA小郡町</td><td>門出 進 常務</td><td>末永 昌己 理事</td><td>中村 文二 JA小郡町 経済課係長</td></tr> <tr><td>山口中央森林組合</td><td>吉光 繁明 参事</td><td>吉光 繁明 参事</td><td>阿部 靖彦 技師</td></tr> <tr><td>山口漁業協同組合</td><td>岩本 和美 組合長</td><td>岩本 和美 組合長</td><td>若月 英雄 専務</td></tr> <tr><td>榎野川漁業協同組合</td><td>太田 政孝 参事</td><td>太田 政孝 参事</td><td>田中 実 生産販売部 主任</td></tr> <tr><td>山口商工会議所</td><td>富田 信行 専務理事</td><td></td><td>平松 桂子 湯田商工振興会 理事</td></tr> <tr><td>生活協同組合コープやまぐち</td><td>若崎 智子 理事</td><td></td><td>田近 辰三 組合員活動部 コーディネーター</td></tr> <tr><td>榎野川の源流を守る会</td><td>山本 繁正 副会長</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>山口市の環境を守る会</td><td>岡本 正 会長</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>山口市消費生活研究会</td><td>吉富 崇子 会長</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>やまぐち県民ネット21</td><td>安達 智 代表理事</td><td>船崎 美智子 世話人</td><td>山本 恭子</td></tr> <tr><td>山口市</td><td>松原 政治 環境部長</td><td>藤井 和彦 環境保全課長</td><td>尾中 孝 環境保全課 主任主事</td></tr> <tr><td>小郡町</td><td>篠原 宣行 助役</td><td>箕島 茂 環境衛生課長</td><td>秋本 龍夫 経済課 商工観光係長</td></tr> <tr><td>秋穂町</td><td>緒方 甫 助役</td><td>安光 忠彦 町民課長</td><td>米富 竜太 農林水産課主事</td></tr> <tr><td>阿知須町</td><td>岡村 久寿男 助役</td><td>兼重 隆文 生活環境課長</td><td>村長 正悟 産業振興課 商工水産係長</td></tr> </tbody> </table>	委員名等	推進委員会	計画策定小委員会	地域通貨等循環促進小委員会	中西 弘 山口大学名誉教授	会長			浮田 正夫 山口大学工学部教授	委員	委員長		遠藤 克彦 山口大学理学部教授	委員			鬼頭 鈞 水産大学校教授	委員			坂本 紘二 下関市立大学教授	副会長		委員長	羽田野 袈裟義 山口大学工学部教授	委員			藤井 大司郎 山口大学経済学部教授	委員			陳 禮俊 山口大学経済学部助教授		委員		深田 三夫 山口大学農学部助教授		委員		榎原 弘之 山口大学工学部講師		委員		竹下 直彦 水産大学校講師		委員		松井 範博 山口大学経済学部教授			委員	鍋山 祥子 山口大学経済学部講師			委員	宇佐美 晃一 山口大学農学部助教授			委員	JA山口中央 JA小郡町	門出 進 常務	末永 昌己 理事	中村 文二 JA小郡町 経済課係長	山口中央森林組合	吉光 繁明 参事	吉光 繁明 参事	阿部 靖彦 技師	山口漁業協同組合	岩本 和美 組合長	岩本 和美 組合長	若月 英雄 専務	榎野川漁業協同組合	太田 政孝 参事	太田 政孝 参事	田中 実 生産販売部 主任	山口商工会議所	富田 信行 専務理事		平松 桂子 湯田商工振興会 理事	生活協同組合コープやまぐち	若崎 智子 理事		田近 辰三 組合員活動部 コーディネーター	榎野川の源流を守る会	山本 繁正 副会長			山口市の環境を守る会	岡本 正 会長			山口市消費生活研究会	吉富 崇子 会長			やまぐち県民ネット21	安達 智 代表理事	船崎 美智子 世話人	山本 恭子	山口市	松原 政治 環境部長	藤井 和彦 環境保全課長	尾中 孝 環境保全課 主任主事	小郡町	篠原 宣行 助役	箕島 茂 環境衛生課長	秋本 龍夫 経済課 商工観光係長	秋穂町	緒方 甫 助役	安光 忠彦 町民課長	米富 竜太 農林水産課主事	阿知須町	岡村 久寿男 助役	兼重 隆文 生活環境課長	村長 正悟 産業振興課 商工水産係長
委員名等	推進委員会	計画策定小委員会	地域通貨等循環促進小委員会																																																																																																																		
中西 弘 山口大学名誉教授	会長																																																																																																																				
浮田 正夫 山口大学工学部教授	委員	委員長																																																																																																																			
遠藤 克彦 山口大学理学部教授	委員																																																																																																																				
鬼頭 鈞 水産大学校教授	委員																																																																																																																				
坂本 紘二 下関市立大学教授	副会長		委員長																																																																																																																		
羽田野 袈裟義 山口大学工学部教授	委員																																																																																																																				
藤井 大司郎 山口大学経済学部教授	委員																																																																																																																				
陳 禮俊 山口大学経済学部助教授		委員																																																																																																																			
深田 三夫 山口大学農学部助教授		委員																																																																																																																			
榎原 弘之 山口大学工学部講師		委員																																																																																																																			
竹下 直彦 水産大学校講師		委員																																																																																																																			
松井 範博 山口大学経済学部教授			委員																																																																																																																		
鍋山 祥子 山口大学経済学部講師			委員																																																																																																																		
宇佐美 晃一 山口大学農学部助教授			委員																																																																																																																		
JA山口中央 JA小郡町	門出 進 常務	末永 昌己 理事	中村 文二 JA小郡町 経済課係長																																																																																																																		
山口中央森林組合	吉光 繁明 参事	吉光 繁明 参事	阿部 靖彦 技師																																																																																																																		
山口漁業協同組合	岩本 和美 組合長	岩本 和美 組合長	若月 英雄 専務																																																																																																																		
榎野川漁業協同組合	太田 政孝 参事	太田 政孝 参事	田中 実 生産販売部 主任																																																																																																																		
山口商工会議所	富田 信行 専務理事		平松 桂子 湯田商工振興会 理事																																																																																																																		
生活協同組合コープやまぐち	若崎 智子 理事		田近 辰三 組合員活動部 コーディネーター																																																																																																																		
榎野川の源流を守る会	山本 繁正 副会長																																																																																																																				
山口市の環境を守る会	岡本 正 会長																																																																																																																				
山口市消費生活研究会	吉富 崇子 会長																																																																																																																				
やまぐち県民ネット21	安達 智 代表理事	船崎 美智子 世話人	山本 恭子																																																																																																																		
山口市	松原 政治 環境部長	藤井 和彦 環境保全課長	尾中 孝 環境保全課 主任主事																																																																																																																		
小郡町	篠原 宣行 助役	箕島 茂 環境衛生課長	秋本 龍夫 経済課 商工観光係長																																																																																																																		
秋穂町	緒方 甫 助役	安光 忠彦 町民課長	米富 竜太 農林水産課主事																																																																																																																		
阿知須町	岡村 久寿男 助役	兼重 隆文 生活環境課長	村長 正悟 産業振興課 商工水産係長																																																																																																																		
<p>策定の背景、目的</p>	<p>①背景          『県では上流域の森林から下流域の干潟や海に至るまでの流域全体を捉えて、流域住民、事業者、関係行政機関などが協働・連携しながら、山口方式として地域の实情に応じた特色のある流域づくりを進めるため、「やまぐちの豊かな流域づくり構想」を策定します。</p>																																																																																																																				

「やまぐち未来デザイン21」では、「21世紀に自活できるたくましい山口県の創造」を基本目標に、「きらめく人」「やすらぎのある暮らし」「にぎわいのある地域」「はつらつとした産業」の4つの将来像を定めています。本構想は、「豊かな流域作り」という観点から、この4つの視点で流域全体の将来像を示すと共に、それを達成するために、流域の将来像とその達成方策を示すものです。

つまり、本構想は、関連する個別の計画、事業等を総合的に推進するために、それぞれの実施や見直しに際しての共通の方向性を示すものであり、構想の進行管理は、これらの計画、事業等を評価するものでもあります。

また、本構想は、県、関係市町村、住民、事業者、各種団体、NPO、大学等流域に関わりをもつすべての主体が、協働・連携して取り組みを進めるための指針でもあります。

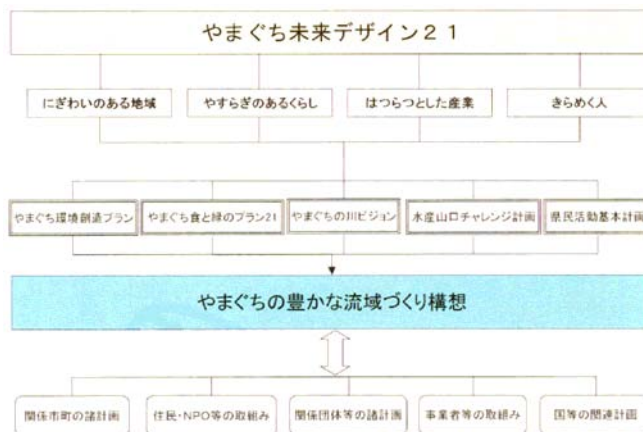
やまぐちの豊かな流域づくりを推進するため、1つの河川流域をモデルに構想を策定することとし、県内の他流域においても、この構想を反映することとします。

そこで、まず榎野川流域をモデルに構想を策定することとしました。』

## ②計画の基本理念・目標

『河川流域全体が健全に保持されることを基本に次の4つの視点で取り組みます。


- ・「地域づくり」の視点
- ・「くらしづくり」の視点
- ・「産業作り」の視点
- ・「人づくり」の視点



### 1) 流域全体

- ・ 上流から下流までの距離が近く、イカ型の構造をした榎野川流域の特徴や風土を活かしながら、川にはきれいな水が豊かに流れ、自然やみどりが豊かで、多様な生物が息づいています。
- ・ 流域に住む人々が流域の自然環境やこの中で育まれてきた歴史や文化に誇りを持ち、さらにこれらを守り、育み、継承しています。
- ・ 地産・地消により森・川・海の幸などが相互に行き交い、人と物との活発な交流などにより、地域産業が活性化しています。
- ・ 上・中・下流に住む人々が、それぞれのつながりを意識し、感謝しあいながら、協働して「豊かな流域づくり」のため活動を進めて、人々が豊かな心・気持ちで暮らしています。

	<p>2) 上流域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁保、宮野地区等の上流域では、森に広葉樹と針葉樹とが適度に混在し、多様な樹齢の木があり、森林が保全され、森の生産・保水・治山機能が向上するとともに、<b>多様な生物が棲んでおり、カジカやウグイスのさえずりが聞け、草木等とのふれあいがある「いやし・いこいの場」</b>などとして、<b>様々な森の恵み</b>を享受できます。</li> <li>・また、上流域は、<b>豊かな山の幸や農林産物</b>とともに、榎野川流域の源である森から湧き出したきれいな水を中下流の人々に贈り続けています。</li> </ul> <p>3) 中流域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中流域は、榎野川流域の中心として、人や都市機能が集まっており、流域の人々の交流や物の循環が進み、地域産業の活性化にも繋がっています。</li> <li>・また、上流域からの<b>清流を大切にするとともに、都市用水、農業用水等として上手に使い、十分な生活排水対策などにより、使った水をきれいにして川に戻し、豊かな清流を守り続けています。</b></li> <li>・河川公園などが整備され、<b>多くの人々が豊かな清流とふれあい、親しみ、さらに、魚道等の整備により豊かな生物の棲める環境</b>にもなっています。</li> </ul> <p>4) 下流域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二島や名田島などの下流域では、中流域からの清流を農業用水として使い、引き続き流域の中心的な田園地帯として、上中流へ<b>豊かな農作物を贈り続けています。</b></li> <li>・上中流域の取組みなどにより、河口や山口湾には干潟や藻場が再生して、カブトガニなどが生息し、多様な生態系が保全され、<b>豊かな海の恵みを取り戻しています。</b> 』</li> </ul> <p>③計画期間 5年程度</p>
--	---

<p>現況把握</p>	<p>流域（行政区）の現況</p> <p>流域面積 : 332.4 km<sup>2</sup>          幹線流路延長 : 30.3 km          農業用水最大取水量 : 16.360 m<sup>3</sup>/s          農業用地 : 2,600 ha</p> 
-------------	--

- 上流域：主に森林からなる地域、榎野川流域の主たるかん養域
- 中流域：主に農地、市街地、住宅地等が立地し、人口及び産業の集積の大きい地域。榎野川流域の水利用の中心域。
- 下流域：海との関わりが強い河口部周辺域（海浜の干潟等を含む）。榎野川流域では農業的利用が主たる地域。



課題

①流域づくりの視点

- ・清流の維持と一層の改善
- ・水量の確保・保水性の確保
- ・廃棄物の不法投棄等による環境汚染の未然防止
- ・川の生物の維持・回復
- ・流域の生物多様性の確保
- ・干潟・藻場の再生

②くらしづくりの視点

- ・河川の治水対策の向上
- ・水の上手な利用
- ・水に親しめる川づくり、人と水のかかわりの回復
- ・河川美化の推進
- ・歴史的遺産の継承・有効利用
- ・自然や地域との関わり回復

	<p>③産業づくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林漁業の振興による地域環境の保全</li> <li>・地産・地消の促進</li> <li>・負荷の少ない循環型農林業の促進</li> <li>・農林漁業と商工業の連携、振興による地域産業の活性化</li> </ul> <p>④人づくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域連携のしくみづくり</li> <li>・川を題材とした環境学習、環境教育の推進</li> <li>・地域の人材の発掘育成</li> <li>・調査研究や情報発信の推進</li> </ul>
<p>対策の 方針</p>	<p>対策の基本方針</p> <p>次の6つを基本方針とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・榎野川の清流（水質）を保全すること</li> <li>・榎野川流域内の生物のつながりを取り戻すこと</li> <li>・榎野川流域全体の水環境を健全にすること</li> <li>・人と川との関わりをつくり、大切にすること</li> <li>・榎野川の水を育む、森・農地を守り、地産・地消等により地域産業を活性化すること</li> <li>・榎野川を軸にした流域連携のしくみをつくること</li> </ul>

具体的対策の概要

① 具体的対策の概要

推進施策体系		
権野川流域循環共生プロジェクト	施策の方向性	主な取組み
清流(水質)保全プロジェクト	総合的な清流保全の推進 総合的な清流保全の枠組みづくり 水質維持・改善対策の推進	権野川水系の清流保全対策の推進
	生活排水対策の推進 汚水処理施設の整備、普及啓発	
	廃棄物の不法投棄等による汚染の未然防止対策 廃棄物不法投棄対策、散乱ごみ対策	
生態系保全プロジェクト	生態系の保全・回復 多自然型川づくりの推進 ホタルが自生する川づくりの推進 外来種対策の推進 魚がのぼる川づくり、ビオトープ 豊かな藻場・干潟の再生	源流の森づくり(保全・利活用)
	森林の適正な管理・保全の推進	自然豊かな川づくり 山口湾の干潟・藻場の再生
健全な水循環プロジェクト	安全・安心な川づくりの推進 流域の保水、浸透性の向上 災害に強い安全・安心な森・川・海づくり	森林の適正な管理・保全と創造
	水量の確保、水の有効活用の促進 節水、処理水再利用、水の有効利用 水量の維持対策の推進	安全で安心できる川づくり
川との関わりプロジェクト	川に親しむ場と機会の提供 流域に親しむイベントの開催・支援 流域の調査研究・情報の収集・発信 親水空間、環境学習空間の整備	地域の人に愛され親しまれる川づくり
地産・地消、地域産業活性化プロジェクト	流域の環境を保全する農林漁業の振興 地産・地消の促進 循環型農林業の促進 農林漁業の振興 循環資源リサイクルシステムの構築	農林産物の地産・地消の促進
	流域資源活用による地域産業の振興 魅力ある観光地づくりの推進 農林漁業と商工業との連携による地域産業の振興 伝統産業の振興	循環型農業・食の循環の推進 魅力ある観光地づくりの推進 権野川フィールドミュージアム構想(仮称)
流域連携プロジェクト	連携・ネットワークの形成 流域の連携・ネットワークの形成 協働型環境保全活動の展開・支援 流域地域通貨の導入 他流域との交流・情報発信	環境学習・環境教育の推進
	流域づくりを担う人材の育成 人材発掘、情報交換 流域の歴史・文化、自然環境の調査・研究 川を中心とした環境教育の推進	地域通貨の導入・流通 流域全体の連携と交流拠点の整備 ・流域連携ネットワーク ・流域交流センター ・権野川フォーラム

	<p>②実施スケジュール 個別の施策に短期・中期・長期の取り組みを設ける。</p> <div data-bbox="798 201 1292 963"> <h3>1 権野川水系の清流保全対策の推進</h3> <p><b>背景とねらい</b>          国では、H17年度に汚水処理施設整備計画を策定し、建設は進んでいますが、汚水処理施設は生活系が占める割合が高いため、特に一部流域では生活排水対策が重要です。          また、企業集積や農家は増加傾向にあり、産業排水の適正な処理が懸念されています。さらに農薬等の不法投棄や畜糞処理等による地下水汚染を未然に防止するため、総合的な清流保全対策の推進を図ります。</p> <p><b>短期的取り組み</b></p> <p><b>総合的な清流保全の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国野川水系の清流を保全するための条例(19年度) (H15年度)による総合的な清流保全の取り組み</li> <li>● 流域で実施したライフスタイルづくり意識の改革</li> <li>● 水質保全活動への協力</li> <li>● 河川清掃等清流保全活動の充実</li> <li>● 住居等の取得、行政への協力、支援</li> </ul> <p><b>生活排水対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 汚水処理施設整備計画の推進</li> <li>● 汚水処理施設整備計画(14年度～15年度)</li> <li>● 生活排水浄化装置補助金の取組</li> <li>● おしずみ水等の取組</li> <li>● 生活排水処理施設の整備</li> <li>● 浄化槽の整備 等</li> <li>● 生活排水、生活排水処理施設への取組</li> <li>● 生活排水による負荷の軽減</li> </ul> <p><b>産業排水による汚染の未然防止対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業排水処理施設整備の推進</li> <li>● 汚水処理施設整備計画(14年度～15年度)</li> <li>● 生活排水浄化装置補助金の取組</li> <li>● 生活排水処理施設の整備</li> <li>● 浄化槽の整備 等</li> <li>● 生活排水、生活排水処理施設への取組</li> <li>● 生活排水による負荷の軽減</li> </ul> <p><b>中長期的取り組み</b></p> <p><b>総合的な清流保全の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業排水の適正処理の仕組みづくり</li> <li>● 生活排水処理率を95%へ (H22年度)</li> <li>● 生活排水の削減</li> <li>● 汚水の高度処理</li> </ul> </div>
--	--